

商品表示意識リサーチ事業 まとめ

福井県消費者グループ連絡協議会
福井県安全環境部県民安全課

○目的

商品を利用する消費者自らが表示の実態を把握・調査することにより商品表示への意識を高めるとともに、県は消費者の誤認を防ぐ適正な商品表示の指導に役立てる。

○実施期間

平成20～25年度

○事業内容

- (1) 表示に関する法律の概要把握
 - ・景品表示法、JAS法、食品衛生法に関する学習会
- (2) 商品購入、調査（3テーマ）
 - ・表示の適正、わかりやすさ等の確認
- (3) 意見交換会の開催
 - ・商品購入による調査結果を基に、消費者としてどのような表示を求めるか等の提案

○食品表示に関する学習会参加者

のべ 191名

○調査テーマと調査品目数

- 20年度 豆腐（38品目）、牛乳（33品目）、生めん類（27品目）
- 21年度 漬物類（29品目）、練り製品（30品目）、乾燥海藻類（25品目）
- 22年度 食パン（42品目）、こんにゃく（85品目）、乾めん類（63品目）
- 23年度 ハム・ベーコン類、みそ・しょうゆ、冷凍食品（県報告分各20品目）
- 24年度 チーズ類、油揚げ、ビスケット類（県報告分各20品目）
- 25年度 米菓（50品目）、ジャム類（27品目）、パウチ惣菜（25品目）

○主だった意見

- ・文字の大きさ、表示が見づらい
- ・アレルギーに関する表示について
- ・原材料の原産国を表示してほしい
- ・添加物に関する質問（何のために入れるのか）、添加物が多い（減らせないのか）といった意見が多かった。

また、調査で確認された不適切な表示については県の担当部署から指導を行い、改善されている。